

## 日本ワムネット、高速DNSサービス販売開始

～グローバル展開のウェブサイトの運営効率化を支援、分散型DNSによる高速化、DDoS攻撃対策も提供～

大容量デジタルデータ伝送サービス事業を展開する日本ワムネット株式会社(東京都中央区、社長:福井 信之)は、日本国内で提供する次世代 CDN サービス「GigaCC CDN サイトアクセラレーションサービス」(以下 GigaCC サイトアクセラレーション)の拡張サービス、「Advanced DNS サービス」(以下 ADNS サービス)を単体でもご利用頂けるプランを発表しました。

インターネット上の名前解決を担う DNS サーバはウェブサイト運用の最も重要な機能の一つで、DNS サービスの遅延やダウンは、そのままサイトのダウンを意味します。特にグローバルなビジネスを行う企業にとっては、その DNS 処理時間の遅延は海外での顧客満足度低下、売上ダウンに繋がる大きな問題といえます。現状では、日本国内にサーバを置き、国際的に情報発信を行っている企業でも、DNS サーバが日本にあるため海外からのアクセスの際の名前解決に多くの時間を要しているのが実情です。GigaCC サイトアクセラレーションでは、このほど、従来から CDN サービスの付加機能として提供している DNS サービスを単独メニューとしてご利用頂けるプランをリリースいたしました。

当社の ADNS サービスは、Cotendo 社の独自技術により開発されたもので、非常に処理性能が高いことに加え、BGP Anycast(※1)をベースとし、グローバルに設置された分散型サーバから提供しています。

分散型 DNS サーバを利用することで、アクセスするユーザの地理的に最も近い拠点から応答することができるので、世界中のあらゆる地点からのアクセスを効率的に処理します。

分散型の DNS サービスは、DNS アタック(DDoS 攻撃)に対しても近隣の DNS サーバが多重バックアップとなり、WEB サーバの安全な運用に貢献します。さらに IP レンジの問題を ADNS サービス側で吸収することで、「IPv6」問題への対応も可能です。

### 【ADNS サービス概要】



※1<BGP Anycast>

ADNS サービスは、同一 IP アドレスを複数の場所で利用する「BGP Anycast」(RFC3258)を用いて、BGP 経路選択により、アクセス者の最も近い DNS サーバが名前解決を行うことができます。

【通常のDNS】



【ADNS導入後】



<リアルタイム性、ユーザーフレンドリーな管理機能はそのままに>

GigaCC サイトアクセラレーションでご好評頂いている管理画面を通じて、ユーザが独自に操作できる点、設定がリアルタイムに反映される点や、監視等の機能の透明性は、ADNS サービスにもそのままにご利用頂けます。

また、Cotendo 社のテクノロジーである Site Assure(※2) や、CDN Balancer(※3)との組み合わせにより、サイトの稼働率をさらに向上させ、柔軟に運用することが可能になります。静的・動的コンテンツ配信機能と同一サーバ・プラットフォーム上でシームレスに連携することで、高い可視性を実現します。

※2<Site Assure>

オリジンサーバを監視し、ネットワーク負荷に異常を感知した場合は、正常に動作しているサーバにトラフィックを振り分ける、自動フェイルオーバーシステムを提供します。※オプション

※3<CDN Balancer>

オリジンサーバや他の CDN サービスとの使い分けや、時間帯、地理的な条件などのアクセスユーザの IP 情報による、お客様ルールに基づいた高度なバランシング機能を提供します。

オプションサービス内容詳細・ご利用価格につきましては、文末の担当者宛お気軽にお問合せ下さい。

【GigaCC CDN サイトアクセラレーション Powered by Cotendo サービス概要】

GigaCC サイトアクセラレーションは、Cotendo 社の独自技術により開発された、これからの CDN やサイトアクセラレーションに求められる全ての機能を提供できる次世代 CDN サービスです。コンテンツ配信に最適化するために OS やファイルシステムレベルから開発され、様々な機能が単一プラットフォーム上で動作することで非常に高いパフォーマンスを提供すると同時に、驚くほどシンプルな導入と運用を可能にします。静的コンテンツのみならず、販売機会などの損失を防ぎ、顧客満足度向上に繋がる「One to One」で生成される動的なコンテンツを含めた、『サイト全体の高速化』を高いパフォーマンスで実現できるだけでなく、コンテンツの更新や削除、各種設定・変更作業を管理者用のウェブサイトから実行するだけでリアルタイムに行うことを可能とし、さらにサービスの利用状況もリアルタイムにモニターすることができるオープンな仕組みを提供しています。

【日本ワムネットについて】

日本ワムネットは、住友商事株式会社(東京都中央区、社長:加藤 進)の子会社で、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区、社長:有馬 彰)も出資する合弁会社。出版・印刷、エンターテインメント業界、放送・CATV 業界、一般企業を対象に、大容量ファイルをセキュアに伝送・共有・保管するサービス事業とネットワークシステムの開発・販売事業を展開しています。

【Cotendo 社について】

Cotendo 社は、2008 年設立、米国カリフォルニア州サニーベール市に本社所在の次世代 CDN サービスを提供する事業者です。Sequoia Capital、Benchmark Capital、Tenaya Capital の米国の有力投資会社が出資しており、従来から、Contents Delivery や Contents Management サービスを開発・提供した経験豊富な経営陣により運営されています。詳細は、<http://www.cotendo.com> をご参照ください。

【本件に関するお問合せ】

日本ワムネット株式会社 営業部 井澤・奥田・斉藤

〒104-0033 東京都中央区新川 1-5-17 パシフィックマークス新川 9F

TEL: 03-5117-2150 FAX: 03-5117-2155

Email: [cdn.sales@wamnet.jp](mailto:cdn.sales@wamnet.jp)

Web: <http://www.gigaccsecure.jp/cdn>

本リリースに記載の社名、製品名、並びにサービス名は各社の商標または登録商標です